

平成30年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成31年 4月 5日
研究・研修課題名	日本糖尿病療養指導士資格認定更新・資格取得、島根県糖尿病療養指導士資格更新・資格取得のための研修会、学会参加
研究・研修組織名(所属)	糖尿病ケアサポート委員会
研究・研修責任者名(所属)	総括責任者： 杉本 利嗣 (内分泌代謝内科) 実施責任者： 守田美和 (内分泌代謝内科)
共同研究・研修実施者名(所属)	(栄養治療室) 端本洋子、矢田里沙子、平井順子 (看護部) 石川万里子、田中沙枝子、佐仲みどり、板倉弘美、藤井奈々子、 数森和栄、黒崎史子、井垣友輔 (検査部) 竹内志津枝、石原智子 (薬剤部) 後藤貴樹、曾田重人、望月優里、大仁田哲修 (リハビリテーション部) 伊藤郁子、野口瑛一

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所、認定名等)	
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

目的及び方法、成果の内容

①目的

日本糖尿病療養指導士の資格維持には、糖尿病患者の療養指導業務従事だけではなく、5年間で糖尿病療養指導研修(学会参加)20単位、自己の医療職種研修(学会参加)20単位の取得と、「日本糖尿病療養指導士認定機構主催の認定更新のための講習会」参加が義務づけられている。

また、島根県糖尿病療養指導士の資格維持には糖尿病に関する研修会・学会参加20単位取得が義務付けられている。

上記の講習会・学会に参加する事により、資格維持ならびに糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識習得、さらに高度な専門的知識を取得する。それにより院内の糖尿病治療の質を向上させる。

②方法

本教育研究助成により、日本糖尿病療養指導士資格認定更新・資格取得と島根県糖尿病療養指導士資格更新・資格取得のための研修会、学会に参加する。

③成果

本年新たな資格取得者が3名。既存の資格取得者15名も資格更新のための単位取得が順調に出来ており、全員継続出来る予定である。

●資格取得のための研修および試験

1)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	井垣友輔 (A病棟4階)
学会名(会期・場所、認定名等)	日本糖尿病療養指導士認定試験 H.31/3/10 岡山コンベンションセンター
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格取得のため

<成果>

資格取得に向けた学習を通し、病棟での指導における知識を深め、日々の業務に臨めるようになった。

2)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input checked="" type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	数森和栄 (AB病棟3階)
学会名(会期・場所、認定名等)	島根県糖尿病療養指導士認定試験
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	2018年9月取得

<目的>

島根県糖尿病療養指導士資格取得のため

<成果>

2年間10回の研修会を受講し糖尿病療養支援の理論と方法への理解が深まった。県内の医療スタッフとの意見・情報交換が出来、今後の連携の糸口となった。助産師として主に糖尿病をもつ妊婦への療養支援やスタッフ育成に役立てたい。

3)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input checked="" type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	黒崎史子 (外来2階)
学会名(会期・場所、認定名)	島根県糖尿病療養指導士認定試験
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	2018年9月取得

<目的>

島根県糖尿病療養指導士資格取得のため

<成果>

資格取得に向けた学習を通し、部署や地域での活動の基礎を作る事が出来た。試験に合格できた。

●資格更新のための研修参加

1)

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	藤井 奈々子 (看護部 A4 病棟)
学会名(会期・場所、認定名等)	第6回日本糖尿病療養指導学術集会 (2018.7.28～29 開催・国立京都国際会館)
演題名・認証交付先等	演題名「誰でも参加できる糖尿病教室」の実施と評価
取得日・認定期間等	2016.9 取得

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

当院の外来糖尿病教室についてポスター発表を行い、教室参加者のアンケート結果に基づいて考察・検討した内容や、教室の成果を多機関に伝えることができた。質疑・応答では、新規の参加者を増やすために行っていることについて質問を受け、当院ホームページでの広報、宣伝方法を紹介した。また、当院スタッフが努力、工夫していることについて質問を受けて、次回の教室にもつながるようなアンケート項目にしていることや、予演会を実施していることを回答した。予演会を行っていることについて高い評価を受け、今後も継続していくべきこととして再確認できた。

講演会では、新しい研究結果などの情報を知ることや、療養指導における姿勢、心構えなど基本的な部分も改めて学ぶことができた。日々の教育入院での指導に取り入れられるよう心掛けている。

2)

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	伊藤郁子 (リハビリテーション部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第6回日本糖尿病療養指導学術集会 (2018.7.28～29 開催・国立京都国際会館)
演題名・認証交付先等	「糖尿病患者の体組成と無酸素性作業閾値における酸素摂取量の関係」
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

上記演題について発表し、関心を寄せられた。測定や介入方法についての質問もあり、精度を上げて継続調査していく予定。

3)

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	野口瑛一 (リハビリテーション部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第6回日本糖尿病療養指導学術集会 (2018.7.28～29 開催・国立京都国際会館)
演題名・認証交付先等	演題名「理学療法士による入院・外来糖尿病患者に対する集団運動指導の取り組みについて」
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

診療報酬が認められていない、糖尿病患者への運動指導については関心が高く、システク作りやマンパワー確保について多くの質問があった。多施設の先を行く取り組みであり、これを継続・充実させようと思う。

4)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	後藤貴樹 (薬剤部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第18回日本糖尿病情報学会年次学術集会 2018.8.24～8.25)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	2018.4～2023.3

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

本学会では糖尿病治療を進めていく上で必須となる患者さん同士の情報のやり取り、患者と医療者・介護者間の情報のやり取り、患者と行政の情報のやり取りが活発に議論され、さらには ICT を利用した遠隔診療や人工知能を利用した診療の取り組みなど最先端の治療も議論される先進的な学会となっていた。

その中ではメディカルケアステーション(MCS)に関する発表が多かった。MCSは全国200カ所以上の医師会で採用されているセキュリティーレベルが高く、費用負担のない完全非公開型のクラウド連携システムであり、患者や家族を含めた他職種と簡便に情報交換ができるのが特徴のシステムである。MCSのメリットとしては文章を介した情報共有に比べタイムラグが少ない、電話連絡に比べ詳細情報を残しやすく、また、写真やファイルの添付が可能であり適切な情報伝達を行うことができる。その他には患者を中心としたグループ内で療養に関わる全職種と情報共有できることがあげられる。デメリットとしては個人情報漏洩の危険性があげられるが、MCSは厚生労働省や総務省、経済産業省から提供されているガイドラインに準拠しておりセキュリティーレベルは担保されている。

先日私は当院と薬局間で糖尿病トレーシングレポートという薬局薬剤師と病院職員が患者に関する情報交換を行う仕組みを整えた。この糖尿病トレーシングレポートの仕組みを整える上においても本学会に参加しこのMCSの講演を聴講できたことが大いに役立っている。

この他にも AI に関する話題やディープラーニングに関する話題など最先端の情報技術と糖尿病治療の組み合わせに関する様々な話を聴講できたので今後の当院における糖尿病治療や仕組み作りに活かしていきたい。



5)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	石川万里子 (看護専門外来)
学会名(会期・場所、認定名等)	第23回日本糖尿病教育・看護学会年次学術集会 (2018.9.23～9.24 開催・水戸市)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

地域での糖尿病療養支援活動、糖尿病予防から災害準備や災害時の地域連携など多くの発表やディスカッションの場があり非常に勉強になった。すぐに実行したい項目も多く、院内の糖尿病療養指導士と情報共有して計画・実行したい。当院でも災害準備や対応を患者さんと共に糖尿病教室やイベントで啓発活動をしているが、理解は続かないと思われるため、定期的に方法を変えながら啓発していく必要性を強く感じた。

6)

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	竹内 志津枝 (検査部)
学会名(会期・場所、認定名等)	日本糖尿病学会中国四国地方会第56回総会 (平成30年(2018年)10月26日(金)・27日(土)・下関)
演題名・認証交付先等	糖尿病劇場®
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

糖尿病劇場とは日常の診療において起こる場面を劇で提示し、会場の参加者とディスカッションを行い、双方向のワークショップを通して理解を深めるための仕組みです。

今回は好ましくない生活習慣・・・いけないと自覚していても、どうしても止められない、止めようと思えばするほど止められない患者の行動のしくみ、心理的な葛藤をテーマにしました。医療者は血糖値は下げた方がいい、間食はやめた方がいいなど科学的に正しい知識を伝えるだけでなく、まずは患者さんの心に寄り添うことが大事なのかもしれない。

県内の施設の他職種と協力し劇を作成する過程で築けた、顔の見える関係を今後の療養指導に生かしていきたい。

7)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	平井 順子 (栄養治療室)
学会名(会期・場所、認定名等)	日本糖尿病学会中国四国地方会第56回総会
演題名・認証交付先等	糖尿病劇場®
取得日・認定期間等	平成30年10月27日

<目的>

<成果>

今回の地方会の演題の中で、糖尿病患者に対する食事調査方法の検討が興味深かった。

食事調査方法は、食事記録、24時間思い出し法など様々な方法がある。今回の発表では、SATシステムを利用した方法と聞き取り調査でのそれぞれの栄養量の比較が行われていた。SATシステムは、ICタグ内臓のフードモデルと使用した調査方法で、具体的な量を思い出すことができ、食事に関する情報を入手できるといわれている。検討結果は、エネルギー量と脂質摂取量に誤差が生じていた。栄養食事指導において、患者さんが、何をどれだけ食べているかどうか確認することは非常に重要であり、問題点や改善された部分などを整理するために必要な情報である。当院では、患者さんが記載した食事記録や患者さんからの聞き取りで情報を得ている。この方法では、患者さんから食事の細かな部分を聞き取りながら、コミュニケーションを図り、生活背景を含めた情報収集もできる長所はあるが、患者の記憶に左右される部分が大きいと、誤差が生じやすいことは日々感じる場所である。改めて食事調査方法により違いが生じることを確認でき、正しい情報を得られるよう様々な媒体を利用して食事の聞き取りを行い、可能な限り正確な情報を聴取することをこれまで以上に意識して栄養食事指導に取り組んでいる

8)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	石原 智子 (検査部)
学会名(会期・場所、認定名等)	日本糖尿病学会中国四国地方会第56回総会 2018年10月26-27日 海峽メッセ下関
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

糖尿病療養指導士資格更新における単位を取得した。

学会では、特別講演「2型糖尿病の病態と治療戦略」やコメディカルセミナー「糖尿病療養指導カードシステムと実践」、一般演題などに参加し、糖尿病に関する最新の知見を得ることができた。

糖尿病療養指導関連の発表も多く、糖尿病は多職種によるチーム医療が深く関わり、とても重要である疾患だと改めて感じた。コメディカルセミナーにおいて、カードシステムを用いる療養指導が紹介されており、システム化されているツールがあると統一された指導が行えると思い、勉強になった。

臨床検査に関連した発表では、SMBG器使用時において、皮膚のイソジン消毒で測定エラーや血糖偽高値がおこった症例が発表されており、学んだことについて検査部内の糖尿病療養指導士に情報伝達を行った。院内にも情報発信していきたい。

9)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	端本洋子 (栄養治療室)
学会名(会期・場所、認定名等)	第20回 中四国糖尿病研修セミナー 平成30年12月16日(日) 8:55~16:05
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

中四国糖尿病研修セミナー参加では、「地域の生活習慣に密着した糖尿病療養指導」という研修テーマのもと地方開催ならではの地域性からの療養指導のあり方について改めて再確認することができた。治療から看護、薬剤、運動、栄養面でのそれぞれの立場からの講演を聞き、実際に関わる患者さんを思い浮かべながら現場での療養指導に直結した内容で専門職として生活習慣をふまえながらの指導について学んだ。管理栄養士の立場から地域の特性を考え、血糖管理はもとより塩分管理にも強化した指導を、実際の調理面での糖分や塩分量を具体的に提示し療養指導していくことにつなげることができた。

10)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	藤井 奈々子 (看護部 A4病棟)
学会名(会期・場所、認定名等)	第20回中四国糖尿病研修セミナー (2018.12.16 開催・米子コンベンションセンター)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	2016.9 取得

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

研修のテーマは、「地域の生活習慣に密着した糖尿病療養指導」であり、講演ではそれぞれの地域の特徴を捉えながら、そこで暮らす患者さんの生活に寄り添った介入が重要であると学んだ。その中で、島根県では「お茶の時間」の特徴に着目した療養指導や、ご縁・付き合いを大切にしている地域性を考慮した関わりなど、身近で、自分の身にも覚えのある話を聞くことができた。また、その他の地域での取り組みについても知ることができた。研修後、病棟で教育入院患者に対し、出雲大社やご縁、お茶などの話をまじえた指導を行うなど実践に反映させることができた。今後も、患者さんの生活に寄り添った指導を行っていきたい。

11)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	曾田重人 (薬剤部)

学会名(会期・場所、認定名等)	第20回 中四国糖尿病研修セミナー (2018.12.16 開催・米子コンベンションセンター)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

第20回 中四国糖尿病研修セミナーに参加し、セミナーを聴講した。

今回のセミナーを通して糖尿病療養指導士として必要な最新の知識を多数得ることが出来た。その中でも薬剤に関係した報告で印象に残ったものを報告する。

■薬剤師による院内糖尿病管理（鳥取県済生会境港総合病院 島田洋次郎先生）

鳥取県済生会境港総合病院では糖尿病内科医を中心に様々職種で構成される糖尿病ケアチームを組織しており、糖尿病患者への集団および個別指導や、チームカンファレンスにて療養指導における問題点の抽出や心理面に配慮した対応を行っている。しかしその中でも病院全体では潜在的に血糖管理不良の患者は数多く存在し、他診療科入院中で未介入糖尿病患者の血糖管理不良による有害事象発生や、発生後の急遽紹介など問題もあり入院早期に糖尿病患者の抽出とその糖尿病管理に対する介入が必要となっていた。2010年4月からCDE取得薬剤師が入院時に糖尿病のスクリーニングと他診療科医の糖尿病管理への介入を開始している。スクリーニング方法としては入院時の持参薬調査システムを利用し、糖尿病の既往の有無や各種検査結果、治療薬の有無や内容を確認し、その後の管理によりコントロール不良が予測された場合、他診療科医へ入院後指示(抗糖尿病薬の内服可否、インスリンの輸液内添加やシリンジポンプによる投与)の提言を行っている。介入後も継続的なフォローが行われ、病状変化指示変更などにも随時対応、カンファレンスでチームへ対応情報をフィードバックし、必要に応じてチーム全体で療養指導を含む介入を行っている。

当院においても潜在的に血糖管理不良の患者は数多く存在していると考えられる。血糖コントロールに影響を与える薬剤は多く存在する。それらの薬剤を内服している患者に対する血糖値のモニタリングが重要であると感じた。また向精神薬による鎮静作用による日中の活動レベル低下が血糖コントロール不良に影響している場合も多く、患者面談、他の医療従事者からの聞き取りなどを通して、患者の日中の様子を確認することも重要な役割であると考えられる。今回のセミナーで学ぶことが出来たことを病棟業務に活かしていきたい。

12)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	板倉 弘実 (看護部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第20回中四国糖尿病研修セミナー (2018.12.16 開催・米子コンベンションセンター)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

島根糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

今回「地域の生活習慣に密着した糖尿病療養指導」というテーマでのセミナーだった。指導を行っていく上で、情報収集の大切さを再確認した。特に生活習慣やその方の大切にされていることはなにかを明確にし、本人の生活に合わせた介入が必要であると思った。その人の生活を理解し、病気とどう付き合っていくかについて意思決定ができる関わりをしていきたいと思った。病棟でもスタッフへ伝達していきたい。

13)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	望月優里 (薬剤部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第34回 日本糖尿病・妊娠学会 年次学術集会 平成30年11月23日～11月24日

演題名・認証交付先等	日本糖尿病・妊娠学会
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

第 34 回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会に参加し、ポスター閲覧、一般講演、及びランチョンセミナー、シンポジウムを聴講した。医師、看護師、管理栄養士等から GDM(妊娠糖尿病；妊娠中に初めて発見又は発症した糖尿病に至っていない糖代謝異常)、糖尿病合併妊娠における血糖管理や出産後の経過等について報告が多数有り、妊娠中の血糖コントロールの重要性について知識を深めることができた。血糖コントロールのためにはインスリン注射なども重要となるため、薬剤師としてもコンプライアンス向上のため、指導等が重要になってくると改めて感じた。この学会で得た知識を GDM、糖尿病合併妊娠で入院した患者への指導に生かすことができ、また今後の指導へも引き続きいかしていく。

14)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	野口瑛一
学会名(会期・場所、認定名等)	第 22 回 日本病態栄養学会・年次学術集会 2019 年 1 月 11-13 日
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

学会では糖尿病の療養指導に必要な病態と栄養学の理解を深めることができた。また学会で学んだ知識を普段の臨床業務の中で還元できるよう努力した。具体的には患者に対して、運動の指導をするだけでなく栄養についても指導をすることができるようになった。

15)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	大仁田哲修 (薬剤部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第 53 回糖尿病の進歩 (2019 年 3 月 1 日(金) ~2 日(土)・青森)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

再診の糖尿病治療・機序について学ぶことができた。また、残薬に対する対策や工夫についても他病院の取り組みについて知る事ができた。当院での療養指導に生かす事ができると考えら、今後、取り組んでいくつもりである。

16)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	竹内 志津枝 (検査部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第 1 回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー(2019 年 3 月 24 日 (日)・岡山)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

心電図検査、TBI、CAVI・PWVを行う際に靴下を脱がなくても検査は実施できるが、靴下を脱いでもらい、検査前の安静にもらう時間を使って足の観察を行い、フットケアにつなげる取り組みの発表があった。

臨床検査技師が糖尿病療養指導に関わる場面は一般的に他職種に比べて少なく、関わりにくいと思われるが、検査中に検査の目的を説明したりすることで、患者さんの療養意欲の向上につなげたり、関わりを増やす努力をしたい。

17)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	石川万里子 (看護専門外来)
学会名(会期・場所、認定名等)	第1回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー(2019年3月24日(日)・岡山)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

地域で多職種連携している様子を発表された。まず連携し始める場の確保が必要であると実感した。

18)

区分	<input type="checkbox"/> 学会発表、 <input type="checkbox"/> 論文掲載、 <input type="checkbox"/> 資格取得、 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新、 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得、 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	伊藤郁子 (リハビリテーション部)
学会名(会期・場所、認定名等)	第1回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー(2019年3月24日(日)・岡山)
演題名・認証交付先等	
取得日・認定期間等	

<目的>

日本糖尿病療養指導士資格更新のため

<成果>

院内の糖尿病療養指導士が連携し情報交換し合い患者支援している様子を聴講した。当院でも定期的にカンファレンスを開催しており、外来患者さんへの支援にも拡大して行ければと考えた。

* 島根県糖尿病療養指導士認定機構
島根県糖尿病療養指導士 認定【2018年9月1日】